

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2005-196258(P2005-196258A)

【公開日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-028

【出願番号】特願2003-435288(P2003-435288)

【国際特許分類】

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 17/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月25日(2006.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

顧客に発行するカードに情報を記録する情報処理装置であつて、
 顧客に発行する第1のカードに第1の情報を記録する第1の記録手段と、
 前記第1の情報を暗号化した第2の情報を生成する暗号化手段と、
 前記第2の情報を、前記第1のカードとともに前記顧客に発行される第2のカードに記録する第2の記録手段と
 を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記第1,2のカードの発行後、前記第1の情報を含む前記第1のカードに関する情報、前記第2の情報を含む前記第2のカードに関する情報を関連づけて保持する保持手段をさらに備えることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記第1,2のカードの発行後、前記第1のカードの使用を停止する旨が入力された場合、

前記情報処理装置とデータ通信が可能で、且つ前記第2のカードに対する情報の読み書きが可能なカード装置に対して、前記第2のカードに記録された前記第2の情報を読みとつて前記情報処理装置に送信する指示を送信する第1の指示手段と、

前記第1の指示手段による指示に応じて前記カード装置から送信された前記第2の情報を復号し、前記第1の情報を復元する復元手段と、

前記復元手段により復元された前記第1の情報を前記カード装置に対して送信するとともに、送信した前記第1の情報を前記2のカードに記録するよう前記カード装置に対して指示する第2の指示手段と、

前記復元手段による復元前の前記第2の情報を、前記顧客に対して発行される第3のカードに記録する第3の記録手段とを備え、

前記保持手段は改めて、前記復元手段により復元された前記第1の情報を含む前記第2のカードに関する情報と、前記復元手段による復元前の前記第2の情報を含む前記第3のカードに関する情報を関連づけて保持することを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記第1の情報は、前記第1のカードに記録すべき1つ以上のアプリケーションのデータであることを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

顧客に発行するカードに情報を記録する情報処理方法であって、
顧客に発行する第1のカードに第1の情報を記録する第1の記録工程と、
前記第1の情報を暗号化した第2の情報を生成する暗号化工程と、
前記第2の情報を、前記第1のカードとともに前記顧客に発行される第2のカードに記録する第2の記録工程と
を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項6】

コンピュータに請求項5に記載の情報処理方法を実行させる為のコンピュータプログラム。

【請求項7】

請求項6に記載のコンピュータプログラムを格納したことを特徴とする、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

メモリ302には、管理サーバ102の制御によりリーダライタ装置106が書き込むカード300固有の情報や、カード300の所有者固有の情報、そしてCPU301が通信部303を介してリーダライタ装置との通信を制御するためのアプリケーションのプログラムやデータが記憶されている。また、後述する追加アプリケーションのプログラムやデータも記憶する。通信部303は、カード300を挿入するリーダライタ装置とのデータの受け渡しを制御する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

領域1304は、予備カードに記録すべき情報を暗号化する場合のパスワードを記録するための領域である。このパスワードは、図10の新規カード発行画面でユーザがキーボード208やポインティングデバイス209等を操作して入力したパスワード情報であることが好ましい。領域1305はアプリケーションのプログラムやデータを記録するための領域で、1つ以上のアプリケーションのプログラムやデータを記録することができる。領域1305において領域1305aは、通信部303を介してリーダライタ装置とのデータ通信を制御したり、メモリ302へのデータの読み出し、書き込みを制御したりといった、メインカードが最低限機能するための処理をCPU301に実行させるための基本アプリケーションのプログラムやデータを記録するための領域である。